

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可 ・ 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 元 山	(ふりがな) もとやま	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	元 山		
伝承地域	只見町		
由来	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 不明		
内容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) 木を切り倒し搬出する職人を、モトヤマ (元山) という。 大工から渡された木割り表によって、柱材や桁の本数、太さ、長さを一定に切りそろえ、搬出して大工に渡す。細い柱材はそのまま渡し、大工は手斧 (ちょうな) で削って柱にする。太いものは山で背割りするか、角材に挽いて運ぶこともある。		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	只見町教育委員会	電話	0 2 4 1 - 8 2 - 5 3 2 0

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)		※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご惠願います。(貼り付けずに、名前がわかるようにして同封ください。)
	性別・年齢	男 ・ 女	歳	
	生年月日	明治・大正・昭和・平成	年 月 日 生	
	住所・電話	〒 電話		
団体	職 業			
	団体名 (ふりがな)		
	代表者氏名 (ふりがな)		
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成	年 月 日	
問い合わせ先			電話	

キーワード

<「元山」と「木挽き」>

会津地方では、モトヤマ（元山）は伐採から搬出、柱や桁などの削りを行う専門職人を指し、農業を主とし兼業に行う場合が多い。村に一人から二人いる師匠に5、6年弟子入りして一人前となる。只見町や南会津町では弟子離れの時に、元山の秘伝や山の神まつりの祝詞、祭りの方法などを記載した巻物を伝授される。

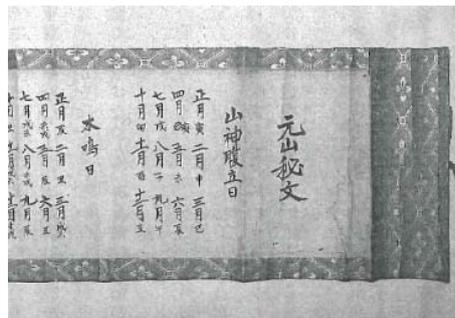
一方、「木挽」は、会津若松市などでは、「惣輪師」と呼ばれる。重箱や文庫などの板もの木地を製材する専門職人を指す。古くは割って板にしたが、「前挽」と呼ばれる縦挽鋸が普及すると、この鋸で製板するようになった。会津漆器の元となる重要な存在である。

<元山の七つ道具>

元山の七つ道具は、ヨキ、ノコギリ、鉋、曲金(尺ざお)、墨壺、ヤ(楔(クサビ))、ツカミ(鍬(カスガイ))である。

<元山の巻物>

元山の師匠から弟子に相伝される巻物は、職業始祖、儀式の作法と山ノ神を祭る儀礼の秘文(唱え言)、作法・木挽きの極意などが記されている。



元山の巻物（只見町教育委員会）



元山の伐採儀礼（只見町教育委員会）